

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年5月30日

【評価実施概要】

事業所番号	0172901688		
法人名	有限会社 旭川高齢者グループホーム		
事業所名	グループホームほーぷ旭川		
所在地	北海道旭川市永山6条11丁目1-27 (電話) 0166-49-5188		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成19年5月30日	評価確定日	平成19年6月4日

【情報提供票より】(平成19年5月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)16年5月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	15 人
職員数	14 人	常勤 13人, 非常勤 1人, 常勤換算	9.2人

(2) 建物概要

建物構造	木造モルタル 造り		
	2階建ての 1~2階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	26,000 円	その他の経費(月額)	10,000 円
敷金	有(円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	450 円	昼食 450 円
	夕食	450 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(5月1日現在)

利用者人数	15 名	男性 4 名	女性 11 名
要介護1	6 名	要介護2	4 名
要介護3	2 名	要介護4	1 名
要介護5	1 名	要支援2	
年齢	平均 85.4 歳	最低 57 歳	最高 91 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	とびさわ呼吸器科・内科医院
---------	---------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

閑静な住宅街と大型スーパーなどの商業施設が隣接する立地条件に恵まれた環境にあるグループホームである。既存の建物を改築してグループホームとして開設しているが居室は広く、ゆったりとしてトイレ・洗面所も設置され清潔感が感じられる。また、若いスタッフが多く、明るく優しい対応に利用者の笑顔が見られたと共に、利用者同士がお互い助け合い支えあい生活している様子が伺えた。町内会にも加入して、地域の人達との行事を通じて交流促進の取り組みがなされていて今後さらに、地域での役割が期待できる。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での主な改善課題として、理念の職員間の共有について全体会議やサービス担当者会議を通じて取り組まれている。今後は、さらに具体的な理念実現のための目標設定が検討されている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価に取り組む中で、管理者・計画作成担当者は意義を確認し理解が深められているが、今後、全ての職員に会議や研修を通じ浸透が促されるよう方向付けが検討されている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	町内会長、家族、利用者等の推進会議の委員も決まり、現在開催日の日程を調整中の段階で会議は開催されていません。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	利用者一人ひとりの健康状態や状況に応じて必要な時には電話で報告されたり、家族がホームを訪問時などには職員から近況を報告されている。今後は、定期的な「便り」の発行や利用者の近況報告などで家族との意見や連携を深める改善が望まれます。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会に加入して地域の活動や祭りへの参加が行われている。今後は、認知症の理解や広報に取組まれる活動の検討も期待される。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	以前からの事業所にある理念をもとに、2ヶ月に一度開催される全体会議やサービス担当者会議を通じて職員間で話し合われている。		今後は、理念の実現のために具体的な目標設定も検討されている。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者、計画作成担当者、職員は全体会議やサービス担当者会議を通じて理念の実現に向けて日々取り組んでいる。		今後は、理念の実現のために全体会議やサービス担当者会議を通じて職員間での共有や新人スタッフ研修で働きかけを行う取り組みを期待します。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入しており、清掃などの地域の行事への参加や「祭り」などを通じて地元の人達との交流に努めている。		
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価及び外部評価を実施する意義を管理者、計画作成担当者は理解し、具体的な改善に取り組むよう努めている。		今後は、全ての職員に会議や研修を通じて浸透が促されるように方向付けが検討されている。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>町内会長、家族、利用者等の推進会議の委員も決まり、現在 開催日の日程を調整中の段階で会議は開催されていません。</p>		<p>管理者は、運営推進会議を地域の理解と支援を得るための貴重な機会と認識されております。開催できるように積極的に働きかけを行いたいと考えられています。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市町村担当との連携を大切に考えており、日頃より取り組むように心掛けている。</p>		
<p>4. 理念を実践するための体制</p>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族の来訪時に利用者の暮らしぶりや金銭の報告を含め個々に合わせた報告に努めている。</p>		<p>家族への定期的な「便り」の発行や利用者の近況報告などで意見や連携をさらに深められることを期待します。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族が、意見や苦情等を申し立てられるように窓口を設置して契約時にも説明している。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者の安定した暮らしを支援する重要性やダメージを防ぐ配慮について理解されている。</p>		<p>職員の異動について、利用者や家族に対して定期的な個別の便りで紹介するなどの検討を期待します。</p>


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間計画は立案されていないが、新規採用時のオリエンテーションを兼ねた初回研修の実施や法人内外の研修の確保に努めている。		サービスの質の向上は、個々の職員の力量に左右されることから、職員の段階に応じた継続的な研修を計画され受講できる取り組みがなされることを期待します。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	若いスタッフも多く意欲的で向上心がある。同一法人内の他施設との交流や相互訪問等を通じてサービスの質の向上に取り組まれている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	相談の段階から利用者、家族に対してホームについて説明がされています。また、サービス利用に際して本人が徐々に馴染めるように居室の配慮や提供するケアについて家族とも十分に相談しながら取り組まれている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、利用者は人生の先輩である事を忘れずに、常に学ぶ姿勢で接して支えあう関係作りに配慮されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>アセスメントに基づいて具体的な介護計画が作成されている。また、モニタリングを定期的実施してケアサービスに反映されている。</p>		<p>今後はさらに、利用者の過去の大切な出来事や経験などの生活歴を把握して一人ひとりの暮らしにより一層活かされていくことを期待します。</p>
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者、家族、計画作成担当者、職員とサービス担当者会議を2ヶ月に一度開催してそれぞれの意見を反映した介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画は、サービス担当者会議を2ヶ月に一度開催して見直している。また、状態変化に応じて随時対応している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の希望に応じて病院搬送や本人の希望があればカラオケ店への送迎などにも支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	看護職員が配置され、利用者の日々の状態は把握されていると共に利用者一人ひとりに気軽に相談できる医師が確保されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	医師や看護師との連携が密にされ、職員間で共有されている。また、終末期のあり方についても取り組みが検討されている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの尊厳やプライバシーについては配慮されていることが確認された。また、個人情報の扱いについても本人、家族に同意を得ている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりのペースを尊重して日常の暮らしぶりに反映されるよう取り組まれている。		今後は、利用者の過去の大切な出来事や経験などの生活歴を把握して、利用者一人ひとりの日々のその人らしい暮らしに活かされていくことを期待します。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者個々の力量に応じて食事の準備や片付けをしている。また、和やかな食事風景であった。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は基本的には、週2回であるが利用者の希望などに応じて都度対応している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者のストレス解消や心身のリフレッシュの為に、本人の希望や力量に応じて買い物やカラオケ、外食などの外出やバーベキュー、レクリエーションなどの支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	芝桜や桜、ラベンダーなどの花見、買い物、散歩、外食など戸外に出かけられる支援に取り組まれている。		今後は、さらに気軽に戸外にでられ心身のリフレッシュが図れるような取り組みを推進されることを期待します。
J					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室や玄関に鍵をかけない取り組みがされていることが確認された。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災などの緊急時については、マニュアルを作成して職員間で共有される取り組みがされている。		緊急時に全ての職員が速やかに対応ができるように火災避難訓練など実技を伴う訓練を定期的実施されることを期待します。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日のカロリー摂取量や栄養バランスについては栄養士が管理している。また、水分摂取量やバイタルチェックなどは具体的に記録をつけて把握している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間については、生活感や居心地よく過ごせるように工夫されている。		二階部分の共用空間（台所、廊下、窓）について光の強さやテーブル・椅子の配置など再度創意工夫される取り組みを期待いたします。
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、写真が掲示されたり馴染みの家具やテレビなどが持ち込まれ安心して過ごせる居場所となっている。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。